

PF ニュースでは皆様の投稿をお待ちしています！

「ユーザーとスタッフの広場」では受賞記事やPFトピックスなどのPF側からの報告だけではなく、BLで実験の合間に楽しく読めるような、ユーザー側からの自由な記事も増やしていきたいと考えています。テーマは問いません。皆様からは気軽にどしどしご投稿いただき、PFニュースがより良い触れ合いの場になるように、是非ともご協力いただければと思います。

例えば、以下のようなアイデアが実際に提案されています。

- ◆ユーザーがPFに対する個人的な意見や思いをエッセイとして綴る。
- ◆編集委員がエッセイを持ち回りで執筆する。
- ◆エッセイの上手な人を探して推薦する。
- ◆A4で一枚ぐらいの分量でPFスタッフの新人が自己紹介をする。
- ◆ユーザーが同様に自己紹介をする。
- ◆チェーン式（友達の輪式？）に次の執筆者を推薦するエッセイ記事。意外な人間関係が見えたりして面白いのではないだろうか。
- ◆失敗談、苦労話。
- ◆匿名座談会を開催して記事にする。
- ◆PF創成期の雰囲気や苦労話を執行部の先生方に執筆してもらおう。
- ◆過去の記事から、現在のユーザーが興味を持ちそうな記事をアーカイブとして掲載する。著者が現役の先生ならば現在の視点を加筆して載せるのも面白いのではないだろうか？

その他、PFについて思うこと、気が付いたこと、提案等、どしどしお寄せ下さい！自薦、他薦も問いません！積極的なご投稿をお待ちしております！

宛 先

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光科学研究施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL：029-864-5196 FAX：029-864-3202
E-mail：pf-news@pfqst.kek.jp
URL：http://pfwww.kek.jp/publications/pfnews/

編集後記

PFニュース編集委員の任期も残すところあとわずかとなりました。2年間の編集委員会を振り返ると、PFが変革期を迎える時期であるため、今後のあり方について議論する場面が多かった印象があります。若造の私には荷が重い話も少なからずあったと思いますが、普段あまり考えないことを改めて考える良い機会となりました。巷では今年も日本人がノーベル生理学・医学賞を受賞し、3年連続の受賞という偉業で湧いていると思います。今回、単独受賞をされた大隅良典先生（東京工業大学 栄誉教授）は、体内をフレッシュに保つために不要なものを包み込んで分解していく、“オートファジー（自食作用）”という現象の仕組みを長年の研究により解明しました。このメカニズムの解明には今年6月に永眠された故・稲垣冬彦先生（北海道大学 名誉教授）らによるオートファジー関連タンパク質の構造研究が欠かせないものだったと思います。生物が命を育む現象（生命現象）を解明するために、PFが果たして行く役割もまた計り知れないものになっていくと思います。末筆ながら、今後もPF、そしてPFニュースのますますの発展をお祈り申し上げます。（K. H.）

平成28年度PFニュース編集委員

委員長	足立 純一	物質構造科学研究所
副委員長	片山 真祥	立命館大学 生命科学部
委員	安達 成彦	物質構造科学研究所
	阿部 善也	東京理科大学理学部第一部
	宇佐美德子	物質構造科学研究所
	丹羽 健	名古屋大学大学院工学研究科
	野澤 俊介	物質構造科学研究所
	兵藤 一行	物質構造科学研究所
	満汐 孝治	東京理科大学理学部第二部

事務局 高橋 良美 物質構造科学研究所

阿達 正浩	加速器研究施設
伊藤 孝憲	日産アーク株式会社
大川万里生	東京理科大学理学部
丹羽 尉博	物質構造科学研究所
原 幸大	静岡県立大学薬学部
間瀬 一彦	物質構造科学研究所
三輪 洋平	岐阜大学工学部